

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田		
科目名	エステティック概論／関係法規・制度	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	エステティック業に従事する為に、関連する法律の基礎知識を学び、法律内容・専門用語を正確に理解する				
授業回	学習内容			備 考	
1	【法の基礎知識】 1. 社会生活と「法」 2. 法とは社会規範 3. 法の強制力 4. 法の原則 5. 日本の資格制度 6. エステティックと法律				
2	【消費者保護】 1. 消費者政策 2. エステティックに関連する消費者トラブル 3. トラブル対応の心得			小テスト	
3	【人の身体に直接触れる職業に関連する法律】 1. 四つの衛生法規 2. エステティックに関わりの深い衛生法規				
4	【経済行為に関連する法律①】 1. 商法 2. 集客 3. 個人情報保護に関する法律 4. 民法				
5	【経済行為に関連する法律②】 5. 消費者契約 6. 消費者契約法 7. 特定商取引に関する法律 8. 割賦販売法 9. 都道府県条例			小テスト	
6	【エステティック業界の統一自主基準①】 1. 自主基準政策の目的 2. エステティックの定義 3. 日本エステティック振興協議会の倫理綱領				
7	【エステティック業界の統一自主基準②】 4. サロン遵守事項			小テスト	
8	授業のまとめ&期末筆記試験				
到達目標	エステティックの安全・安心の社会意義とその重要性を理解し、コンプライアンス意識と正しいエステティック業を営むために必要な能力が備わる				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学理論編Ⅲ、エステティック関連法規(AEA)、プリント教材				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田		
科目名	エステティックカウンセリング	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義・演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	コンサルテーションシートに記載されている項目すべてにおいて、根拠を述べる事が出来るよう理論の復習を兼ねて学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】1.禁忌事項 2. 生活習慣 【到達目標】禁忌事項の理由をすべて説明出来るよう総復習を行い、生活習慣が肌・身体トラブルにどのように関係するか説明出来るようにする				
2	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 3. 肌分析 【到達目標】皮脂量や水分保持状態・血液循環・皮膚の弾力等のすべての項目を説明出来るようになる				
3	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 4. 身体の分析 【到達目標】筋肉量の状態、姿勢・脂肪やセルライト等の身体の現状を分析し、施術目的の裏付けを説明出来るようになる				
4	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 5. ホームケアアドバイス 【到達目標】口頭試問でホームケアアドバイスの理由を聞かれた時に、専門科目の理論根拠に沿って答える事が出来る				
5	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 総合演習（フェイシャル） 【到達目標】口頭試問でホームケアアドバイスの理由を聞かれた時に、専門科目の理論根拠に沿って答える事が出来る				
6	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 総合演習（ボディ） 【到達目標】口頭試問でホームケアアドバイスの理由を聞かれた時に、専門科目の理論根拠に沿って答える事が出来る				
7	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 総合演習（フェイシャル） 【到達目標】口頭試問でホームケアアドバイスの理由を聞かれた時に、専門科目の理論根拠に沿って答える事が出来る				
8	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 総合演習（ボディ） 【到達目標】口頭試問でホームケアアドバイスの理由を聞かれた時に、専門科目の理論根拠に沿って答える事が出来る				
9	【シデスコ国際試験対応コンサルテーション】 総合演習（フェイシャル） 【到達目標】口頭試問でホームケアアドバイスの理由を聞かれた時に、専門科目の理論根拠に沿って答える事が出来る				

到達目標	お客様の情報分析から、理論に基づいた考察を行うことが出来説明まで出来るようになる
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない
テキスト	シデスコマニュアルテキスト 配布プリント
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術理論（フェイシャル）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	12
教育目標・ ねらい	サロンを想定し、実際のお客様の肌分析を行い応用知識・技術を活かし施術工程内容を理解する				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	電気機器 7. 低周波 【シデスコ対応低周波実技理論】 【到達目標】低周波の周波数によって、筋肉を収縮させる電気5要素を理解し、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の肌トラブルの状態によって機器の選択が出来るようになる。				
3	シデスコ対応ティティング・ツイーピング理論 【到達目標】睫毛・眉毛を染料で染める商材の成分や濃度を理解し、使用目的・頻度・禁忌事項を理解し、シデスコ国際試験合格レベル技術を習得する				
4	シデスコ対応ビフォーカウンセリング理論① 【到達目標】コンサルテーションシートの使用目的を理解し、記入方法を学ぶ。				
5	シデスコ対応ビフォーカウンセリング理論② 【到達目標】コンサルテーションシートを使用し、お客様の悩みに沿って施術内容を定める為に情報収集を行う。トラブルの原因を分析し、施術の必要性を簡潔に説明できるようにする。				
6	シデスコ対応アフターカウンセリング理論① 【到達目標】施術後の効果をお客様に説明し、トラブルの原因を再度確認し説明出来るようになる。				
7	シデスコ対応アフターカウンセリング理論② 【到達目標】施術後の効果を持続させる為に、次回のサロン予約のご案内やホームケア商品のご提案を行うことが出来るようになる。				
8	シデスコ対応ホームケアアドバイス化粧品編 【到達目標】肌トラブルの改善を行う為、ホームケア商品の使用方法・成分・効果を説明出来るようになる。				
9・10	シデスコ対応ホームケアアドバイス栄養学編 【到達目標】肌トラブル改善の為、生活習慣の見直しをお客様と一緒に確認をする。トラブルの原因を分析し、生活習慣と肌トラブルの繋がりを説明出来るようになる。				
11・12	シデスコ対応口頭試問対策講座 【到達目標】知識と技術の連動性を確認し、理論的に技術の説明が出来るようになる			口頭試問小テスト	
到達目標	シデスコ国際試験に向けて、全ての学科の総まとめを行い、 施術工程の口頭試問に答える事が出来る				

評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない
テキスト	新エステティック学―技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト シデスコマニュアルテキスト 来客実習マニュアルテキスト 配布プリント
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術理論（ボディ）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	12
教育目標・ ねらい	サロンを想定し、実際のお客様のボディ分析を行い応用知識・技術を活かし施術工程内容を理解する				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	電気機器 7. 低周波 【到達目標】低周波の周波数によって、筋肉を収縮させる電気5要素を理解し、使用目的・生体作用・美容効果・使用上の注意、禁忌事項を理解し説明・実践出来るようになる。また、お客様の身体症状により機器の選択が出来るようになる。				
3	シデスコ対応ピフォーカウンセリング理論① 【到達目標】コンサルテーションシートの使用目的を理解し、記入方法を学ぶ。				
4	シデスコ対応ピフォーカウンセリング理論② 【到達目標】コンサルテーションシートを使用し、お客様の悩みに沿って施術内容を定める為に情報収集を行う。トラブルの原因を分析し、施術の必要性を簡潔に説明できるようにする。				
5	シデスコ対応アフターカウンセリング理論① 【到達目標】施術後の効果をお客様に説明し、トラブルの原因を再度確認し説明出来るようになる。				
6	シデスコ対応アフターカウンセリング理論② 【到達目標】施術後の効果を持続させる為に、次回のサロン予約のご案内やホームケア商品のご提案を行うことが出来るようになる。				
7	確認テスト（実践形式）				
8	シデスコ対応ホームケアアドバイス化粧品編 【到達目標】身体症状の改善を行う為、ホームケア商品の使用方法・成分・効果を説明出来るようになる。				
9・10	シデスコ対応ホームケアアドバイス栄養学編 【到達目標】身体症状の改善の為、生活習慣の見直しをお客様と一緒に確認をする。 トラブルの原因を分析し、生活習慣と肌トラブルの繋がりを説明出来るようになる。				
11・12	シデスコ対応口頭試問対策講座 【到達目標】知識と技術の連動性を確認し、理論的に技術の説明が出来るようになる			口頭試問小テストあり	

到達目標	シデスコ国際試験に向けて、全ての学科の総まとめを行い、 施術工程の口頭試問に答える事が出来る
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAボディ実技理論 シデスコマニュアルテキスト 来客実習マニュアルテキスト 配布プリント
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術理論（ネイル）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	マニキュア技術を修得するために必要な技術理論と、爪は皮膚の付属器官であることから、正しい知識を身に着け衛生の観点から安全に技術が出来るように理解する。				
授業回	学習内容			備 考	
1	【ネイル概論】 1. マニキュアの歴史 2. マニキュアの必要性 3. ネイル技術体系 【到達目標】 マニキュアの歴史を、海外と日本に分けて時代背景を学び、使用する材料の特徴・技術の発達を学ぶ。また、マニキュアの必要性を内的要因・外的要因の観点から考え、ネイルケアの必要性を説明することが出来るようになる。				
2	【指先の機能と爪の役割・構造と働き】 【到達目標】 爪の各部組織の名称・役割を学び、皮膚の付属器官の組織を理解する。				
3	【手の骨格・関節・筋肉・腱】 【到達目標】 手・前腕部の骨格。手関節について、骨の数と構成を正しく理解する。				
4・5	【手の神経と循環組織】 1. 手の皮膚神経 2. 感覚受容器 3. 手の循環組織 4. リンパ系				
	【爪の病気とトラブル】 1. ネイルカウンセリングの重要性 2. 爪の異常 3. 爪の病気とトラブル 【到達目標】 神経と循環組織の理解を行い、禁忌事項の確認を行うことが出来る				
6	【マニキュア化粧品の特徴と効果】 【到達目標】 主成分・主要成分、使用頻度や管理方法を学び、爪の状態を判断して商材を選択出来るようになる。				
7	【シデスコ対策ネイル技術理論】 ※ 口頭試問集より総復習				
8	小テスト・解説 【到達目標】 20点満点中、12点以上を合格とする				

到達目標	マニキュア技術工程の意味を理解し、成分や特性・爪の病気を理解することで安全に技術を行うことができる。また、爪の構造を学び、様々な爪の状態のお客様の対応力が身につく。
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅱ シデスコ対策配布プリント
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術理論（美容脱毛）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	美容脱毛全体を理解し、脱毛技術の知識を実践的に理解する。また、安心・安全に技術とカウンセリングが出来るようになる。				
授業回	学習内容			備 考	
1	【美容脱毛学概論】 1. 脱毛の歴史 2. 現代の脱毛法の分類 【到達目標】 脱毛の進化や美容電気脱毛や美容ライト脱毛へと市場が拡大した流れを理解し、脱毛の種類・特徴を理解する。				
2	【毛髪学概論】 1. 毛髪学概論 2. 毛と毛包の構造 3. 発毛の仕組みと毛周期 【到達目標】 皮膚組織の付属器官である毛について、皮膚の構造上から毛の全体像を把握する。				
3	【毛の成長因子と美容脱毛】 1. 毛の成長要因 2. 毛とホルモン 3. 多毛と多毛症 ※ 毛の成長変化する原因についてホルモンの観点から理解する。				
4	【脱毛技術を行う際の知っておくべき病気】 1. 脱毛時に必要な病気の知識 2. 禁忌事項の病気 3. 血液感染の病気 4. 皮膚疾患への対応 5. 体質への配慮 【到達目標】 注意すべき皮膚疾患と禁忌事項を理解する。また発生要因からみた皮膚疾患の分類と、医師の承諾を得る必要性がある病気を理解し、安全に施術を行うようにする。				
5	【美容脱毛に関する衛生管理】 1. 美容脱毛施術と衛生管理 2. 滅菌・消毒 3. 手順と衛生管理 【到達目標】 衛生管理に対する知識を理解し、備品別の消毒方法を学ぶ。				
6	【美容脱毛のカウンセリング】 1. カウンセリング目的 2. カウンセリングの要点 3. カウンセリングシートの作成 4. 説明と同意 【到達目標】 脱毛の施術を行う際、最適で安全な方法を提案できるよう、ヒアリングのポイント、施術計画・費用・技術説明を行う必要性について理解が出来る。				
7	【ワックス脱毛実技】 1. ワックス脱毛の特色 2. ワックス剤と施術前の注意 3. 脱毛実技手順 4. アフターケアについて 【到達目標】 ワックス脱毛の特色について学び、長所と短所を理解する。イングロヘアを引き起こす要因と対処方法を、ホームケアを含めて説明出来るよう修得する。				
8	小テスト・解説 【到達目標】 20点満点中、12点以上を合格とする				

到達目標	毛の解剖学を理解し、お客様の要望や毛の状態によって美容脱毛の種類を提案出来るようになる。また、禁忌事項や病気を理解し安全に施術を行うことが出来、アフターカウンセリングやホームケアアドバイスをお客様に説明が出来る。
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEA美容脱毛学テキスト シデスコ対策配布プリント
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術理論 (東洋・西洋セラピー)	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	20
教育目標・ ねらい	様々なセラピーに関する知識を深め、ホームケアアドバイス知識やエステティックと合わせる必要性を学ぶ。				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	【セラピーの起源と定義】1. 東洋の伝統医学 2. アーユルヴェーダー 【到達目標】東洋医学の概要を理解し、他の医学との関連性や違いをりかいする。また、アーユルヴェーダーの歴史や体質・特性を含めた全体を理解し、お客様の状況に沿って技術を選択出来るようになる。				
3・4	【セラピーの起源と定義】3. 中医学 【到達目標】中医学の考え方や理論の基づいた体質の分類によって、必要な食材や生活習慣・自分の体質を理解する。また、お客様へホームケアアドバイスとして説明することが出来るようになる。				
5・6	【セラピーの起源と定義】4. 西洋で生まれたセラピー 5. アロマセラピー 【到達目標】アロマセラピーの起源から作用・製造方法・人体への作用する仕組みを理解し、エステティックと合わせて体質改善や症状の緩和に役立てることが出来る。				
7・8	【セラピーの起源と定義】6. リンパドレナージュ 7. タラソセラピー 【到達目標】リンパドレナージュ・タラソセラピーの起源から、歴史や身体の仕組み・作用・必要な環境・設備等を理解し、お客様へ提供する技術・知識の幅を広げることが出来る。				
9・10	【東洋セラピーの技法】1. アーユルヴェーダー 【到達目標】アーユルヴェーダーの様々な技法を学び、施術方を総合的に理解し、お客様の要望や体の症状によって施術方法を変えて効果を出すことが出来るようになる。				
11・12	【東洋セラピーの技法】2. カッピング療法 3. 耳つぼ療法 4. 気功 【到達目標】身体の反応と臓器への作用を学び、エステティックの技術に取り入れ施術効果を出すことが出来る。				
13	小テスト・解説 【到達目標】20点満点中、12点以上を合格とする				
14・15	【西洋セラピー】1. アロマセラピー 【到達目標】アロマセラピーを活用したホームケアトリートメントを学び、お客様へ説明が出来るようになる。				
16・17	【西洋セラピー】2. リンパドレナージュ 3. タラソセラピー 【到達目標】手法や作用を学び実践に活かすことが出来る。				
18	小テスト・解説 【到達目標】20点満点中、12点以上を合格とする				
授業回	学習内容 12			備 考	

19・20	<p>【西洋のセラピー】4. リフレクソロジー 5. ポトロジー</p> <p>【到達目標】ゾーン理論や各臓器の反射区を理解し、体の症状の緩和につなげることが出来る。</p>	
21・22	<p>【西洋のセラピー】6. ストーンセラピー</p> <p>【到達目標】ストーンセラピーの歴史・人体への作用・ストーンの浄化作用・消毒方法を学び、お客様の症状緩和の選択肢の幅を広げることが出来る</p>	
23・24	<p>【西洋セラピー】 7. オーラソーマ</p> <p>【到達目標】色の性質を知り、お客様の心理状態を読み解き施術に活かすことが出来る。</p>	
25・26	<p>【代替療法】1.代替療法の現状 2. 歴史と主な分類 3. エステティックと代替療法 4. 代替療法によるサプリメント</p> <p>【到達目標】予防医学の観点から様々な療法の知識を学び、エステティックの五感療法と合わせて知識の幅を広げる。また、お客様の症状に合わせた施術をする際の判断材料として知識の幅が広がる。</p>	
27・28	AEA筆記試験対策模擬	
29・30	AEA筆記試験対策模擬	
到達目標	エステティックと合わせてより効果が見込まれ、お客様の要望に沿えるよう施術・知識の選択肢の幅が広くなり提案方法も増える。	
評価方法	AEA筆記実技模擬試験にて70点以上合格とする。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	新エステティック学―選択科目編 AEA東洋・西洋セラピーテキスト	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（フェイシャル）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	①低周波機器の理論を理解したうえで、運動生理学の観点と解剖生理学の観点から技術工程の修得をする ②シデスコ国際試験を想定しトリートメントを選択肢を増やす為応用技術を修得する				
授業回	学習内容			備 考	
1	フェイシャル基礎技術⑩ 1. 低周波 【到達目標】低周波電流作用によって、持続的に筋肉を運動をさせ表情筋を鍛える理論を学び、技術工程を修得し運動生理学の観点から説明が出来るようになる				
2	フェイシャル基礎技術演習⑩ 1. 低周波 【到達目標】低周波電流作用によって、持続的に筋肉を運動をさせ表情筋を鍛える理論を学び、技術工程を修得し運動生理学の観点から説明が出来るようになる				
3	フェイシャル基礎技術演習⑩ 1. 低周波 【到達目標】低周波電流作用によって、持続的に筋肉を運動をさせ表情筋を鍛える理論を学び、技術工程を修得し運動生理学の観点から説明が出来るようになる				
4	フェイシャル応用技術① 応用マッサージ 【到達目標】肌質・肌トラブル・年齢によってマッサージの技法を変え、効果・目的に沿った組み合わせの手技を行う事が出来る				
5	フェイシャル応用技術① 応用マッサージ 【到達目標】肌質・肌トラブル・年齢によってマッサージの技法を変え、効果・目的に沿った組み合わせの手技を行う事が出来る				
6	フェイシャル応用技術① 応用マッサージ 【到達目標】肌質・肌トラブル・年齢によってマッサージの技法を変え、効果・目的に沿った組み合わせの手技を行う事が出来る				
7	フェイシャル応用技術② シデスコ試験対応技術（ティンディング・ツイーシング） 【到達目標】睫毛と眉毛を染料で染める技術を、注意事項・禁忌事項を確認し安全に行える工程を修得する。また、染料の放置時間や施術頻度を説明出来るようになる				
8	フェイシャル応用技術② シデスコ試験対応技術（ティンディング・ツイーシング） 【到達目標】睫毛と眉毛を染料で染める技術を、注意事項・禁忌事項を確認し安全に行える工程を修得する。また、染料の放置時間や施術頻度を説明出来るようになる				

授業回	学習内容	備考
9	フェイシャル応用技術総合演習 シデスコ国際試験 フェイシャルトリートメント工程 【到達目標】 コンサルテーションに沿って組み立てた施術計画を、実践し効果を理解して行うことができる	
10	フェイシャル応用技術総合演習 シデスコ国際試験 フェイシャルトリートメント工程 【到達目標】 コンサルテーションに沿って組み立てた施術計画を、実践し効果を理解して行うことができる	
到達目標	お客様の年齢層や肌トラブルのレベル別にトリートメントを組み立て、技術工程の目的・効果を説明できるようになる。	
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の4/5)を下回る学生は受験することができない	
テキスト	新エステティック学—技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（フェイシャル）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	50
教育目標・ ねらい	トラブル別のフェイシャルトリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択、マッサージの技法選択、ホームケアアドバイスの一連の流れを修得する。シデスコ国際試験を想定し、各工程の説明を行う				
授業回	学習内容			備 考	
1	フェイシャル応用技術総合演習 ・肌トラブル別トリートメント（脂性肌・ニキビ） 【到達目標】トラブル別トリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択・ホームケアアドバイスの一連の流れを行うことが出来、各工程の口頭試問の受け答えが出来るようになる。				
2	フェイシャル応用技術総合演習 ・肌トラブル別トリートメント （乾燥肌・毛細血管拡張・水分不足） 【到達目標】トラブル別トリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択・ホームケアアドバイスの一連の流れを行うことが出来、各工程の口頭試問の受け答えが出来るようになる。				
3	フェイシャル応用技術総合演習 ・トラブル別肌トリートメント（老化肌） 【到達目標】トラブル別トリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択・ホームケアアドバイスの一連の流れを行うことが出来、各工程の口頭試問の受け答えが出来るようになる。				
4	フェイシャル応用技術総合演習 ・トラブル別肌トリートメント（色素沈着） 【到達目標】トラブル別トリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択・ホームケアアドバイスの一連の流れを行うことが出来、各工程の口頭試問の受け答えが出来るようになる。				
5	フェイシャル応用技術総合演習 ・トラブル別トリートメント（敏感肌） 【到達目標】トラブル別トリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択・ホームケアアドバイスの一連の流れを行うことが出来、各工程の口頭試問の受け答えが出来るようになる。				
6	フェイシャル応用技術総合演習① ・シデスコ国際試験模擬練習 【到達目標】お客様の肌状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。				
7	【フェイシャル応用技術総合演習②】 ・シデスコ国際試験模擬練習 お客様の肌状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。				

授業回	学習内容	備考
8	フェイシャル応用技術総合演習③ ・シデスコ国際試験模擬練習 【到達目標】お客様の肌状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。	
9	フェイシャル応用技術総合演習④ ・シデスコ国際試験模擬練習 【到達目標】お客様の肌状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる。	
到達目標	技術理論・専門科目理論を総合的にまとめ、施術工程の組み立てを行いトラブル改善の裏付けと説明と実践を行うことが出来る。	
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の4/5)を下回る学生は受験することができない	
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAフェイシャル実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（ボディ）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	①ボディパック・マスクの技術工程・商材の種類・主要成分を学び、施術目的・効果を出す技法を学ぶ ②美容電気機器低周波の工程を学び、筋肉の収縮状態を正確に行えるように筋肉の位置や周波数の違いによる作用を学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1	ボディ基礎実技⑨ ボディパック・マスク 1. クレイタイプ 2. 粉末タイプ 3. ジェルタイプ 4. クリームタイプ 【到達目標】ボディパック・マスク商材の種類・主要成分を学び、工程を学び解剖生理学・皮膚科学理論に結び付け実践と説明を修得する				
2	ボディ基礎実技⑩1. 美容電気機器（ボディ低周波）－下肢・背部 【到達目標】正しい筋肉の位置に低周波パッドを置き、筋肉の収縮を確認する				
3	ボディ基礎実技⑩ 1. 美容電気機器（ボディ低周波）－腹部・腕 【到達目標】正しい筋肉の位置に低周波パッドを置き、筋肉の収縮を確認する				
4	ボディ応用技術① 1. ボディカウンセリング（スキンチェック・トラブルチェック・身体チェック） 【到達目標】お客様の身体の状態を正確に把握することで、施術計画を立て安全に正確に施術を行うことが出来る				
5	ボディ応用技術① ボディカウンセリング総復習 【到達目標】サロンを想定し、お客様のご案内からボディカウンセリングの一連の流れを実践方式で行う。クライアントケアを意識し、エステティシャンとして施術計画を立て実践する事ができる				
到達目標	あらゆる施術目的に対応出来るように、美容電気器の選択肢の幅を広げる。また、技術工程がもたらす施術効果が理論の基づいていることを立証する口頭説明が出来るようになる。				
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学－技術編Ⅰ AEAボディ実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（ボディ）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	身体の症状別のボディトリートメント工程を組み立て、商材・機器の選択、マッサージの技法選択、ホームケアアドバイスの一連の流れを修得する。シデスコ国際試験を想定し、各工程の説明を行う。				
授業回	学習内容			備 考	
1	ボディ応用技術② ・シデスコ国際試験模擬練習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる				
2	ボディ応用技術② ・シデスコ国際試験模擬練習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる				
3	ボディ応用技術② ・シデスコ国際試験模擬練習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる				
4	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる				
5	ボディ応用技術②・シデスコ国際試験模擬練習 【到達目標】お客様の身体の状況を分析し、所定時間内にトラブル改善のトリートメント組み立てを行う。また、各工程の説明を行う事が出来るようになる				
到達目標	技術理論・専門科目理論を総合的にまとめ、施術工程の組み立てを行いトラブル改善の裏付けと説明と実践を行うことが出来る。				
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ AEAボディ実技理論テキスト AEAエステティック電気学・機器学 シデスコマニュアルテキスト 各種配布配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境		
科目名	エステティック技術実習（ネイル）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	ネイルの基礎知識・基礎技術を習得し、安全且つ衛生面に配慮し技術工程を行うことができる				
授業回	学習内容			備 考	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道具のセッティング、使用方法/ネイル技能検定 3 級試験概要説明 ・ ファイリングカットスタイル/ファイリング 【到達目標】 ネイル道具のセッティングができるようになり、ネイル技能検定 3 級試験の内容を理解する				
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネイルケア、ニッパー 【到達目標】 プッシャーを使用し自身の爪のプッシュバック・プッシュアップニッパーハンドリングができるようになる				
3	ネイルケア(相モデル) 【到達目標】 プッシャーを使用し相モデルのプッシュバック・プッシュアップニッパーハンドリングができるようになる				
4	ネイルケア模擬テスト 【到達目標】 正しく安全に道具が使用できるようになる				
5	カラーリング/ネイルアート 【到達目標】 赤ポリッシュをムラなくきれいに塗ることができるようになる				
6	カラーリング 【到達目標】 キューティクルラインやサイドラインをきれいに塗ることができるようになる				
7	ネイルアート 【到達目標】 花のアートの描く手順を理解し、水分量を調節しながら花のアートを描くことができるようになる				
8	タイムトライアル 【到達目標】 正しく道具を使用し、ネイルケアから仕上げまで時間内に終わらせることができるようになる				
9	ネイル技能検定対策① 【到達目標】 ネイル技能検定 3 級受験と同じスケジュールで技術工程を行うことができる				
10	ネイル技能検定対策② 【到達目標】 ネイル技能検定 3 級受験と同じスケジュールで技術工程を行うことができる				

到達目標	正しく、安全にネイル道具を使用することができるようになる 赤ポリッシュを美しく塗ること、花のネイルアートを描くことができるようになる ネイル技能検定3級に合格
評価方法	期末実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の4/5)を下回る学生は評価対象としない
テキスト	JNAテクニカルテキスト
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員はネイルサロン経営者として、また日本ネイリスト協会本部認定講師としての経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習(実技試験)	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	5
教育目標・ ねらい	コンサルテーションにより、肌・体の分析を行い施術計画を立てることを確認する				
授業回	学習内容			備 考	
1	フェイシャル実技試 応用操作・クレンジング・コンサルテーション・機器・マッサージ・マスク・ 整肌 【到達目標】基本操作に加え、お客様の肌にあわせた施術冷計画の工程を行う ことが出来る				
2	フェイシャル実技試 応用操作・クレンジング・コンサルテーション・機器・マッサージ・マスク・ 整肌 【到達目標】基本操作に加え、お客様の肌にあわせた施術冷計画の工程を行う ことが出来る				
3	ボディ実技試験：応用操作・コンサルテーション・機器・マッサージ・ 整肌 【到達目標】お客様の体の状況を分析し、施術計画を立てて実践するこ とが出来				
4	ネイル実技試験：ネイル検定3級の実技工程 【到達目標】時間何に安全・衛生面に配慮し、ケア・カラー・アートの工程を 行うことが出来る				
5	美容脱毛実技試験：ワックス脱毛技術工程（ホット・ウォーム） 【到達目標】校歌・目的・使用成分を理解し、安全に効率良く効果を出 す技術工程を行うことが出来る				
到達目標	応用技術工程を時間内に正確に行うことが出来、安全且つ衛生面に配慮した施術を行うことが出 来る。また、技術理論を理解し効果を出す施術工程を行うことが出来る				
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で70点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を 下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学ー技術編Ⅰ、AEAフェイシャル実技理論・美容脱毛テキスト、AEAエステ ティック電気学・機器学、シデスコマニュアルテキスト、各種配布配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有する サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習(実技試験)	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	5
教育目標・ ねらい	コンサルテーションにより、肌・体の分析を行い施術計画を立てることを確認する トラブル改善に対し、理論的に症状や技術を説明する				
授業回	学習内容			備 考	
1	フェイシャル：シデスコ国際試験技術工程 【到達目標】 技術を行いながら、分析した肌の症状に対し理論的に口頭 試問に答えることが出来る				
2・3	ボディ技術試験：シデスコ国際試験技術工程 【到達目標】 技術を行いながら、分析した肌の症状に対し理論的に口 頭試問に答えることが出来る				
4	ネイル技術試験：シデスコ国際試験技術工程 【到達目標】 技術を行いながら、分析した肌の症状に対し理論的に口 頭試問に答えることが出来る				
5	美容脱毛技術試験：シデスコ国際試験技術工程 【到達目標】 技術を行いながら、分析した肌の症状に対し理論的に口 頭試問に答えることが出来る				
到達目標	応用技術工程を時間内に正確に行うことが出来、安全且つ衛生面に配慮した施術を行うことが出 来る。また、技術理論を理解し効果を出す施術工程を行うことが出来る				
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で70点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の4/5)を 下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ、AEAフェイシャル実技理論・美容脱毛テキスト、AEAエステ ティック電気学・機器学、シデスコマニュアルテキスト、各種配布配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有する サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（美容脱毛）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30
教育目標・ ねらい	脱毛は衛生面に特に注意し、安全に施術を行う技術工程を学ぶ。また、毛の種類によって技法の効果が異なる事を実践で学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1	美容脱毛実技 1. 技術環境設営 2. スキンチェック 3. 手指・皮膚消毒 4. 毛流の確認 5. パウダー塗布 6. 温度確認 7. ウォームワックス施術 8. 脱毛後の確認 9. 皮膚のコンディションを整える 【到達目標】ウォームワックスの技術工程を学び、衛生面に配慮し安全に施術を行う技術を修得する				
2	美容脱毛実技 ウォームワックス 1. 下肢 2. 腕 【到達目標】部位によって、商材の塗布の仕方・皮膚の保護の仕方を実践で覚える				
3	美容脱毛実技 1. 技術環境設営 2. スキンチェック 3. 手指・皮膚消毒 4. 毛流の確認 5. パウダー塗布 6. 温度確認 7. ホットワックス施術 8. 脱毛後の確認 9. 皮膚のコンディションを整える 【到達目標】ホットワックスの技術工程を学び、衛生面に配慮し安全に施術を行う技術を修得する				
4	美容脱毛実技 ホットワックス 1. 脇 2. ビキニライン 【到達目標】部位によって、商材の塗布の仕方・皮膚の保護の仕方を実践で覚える				
5	美容脱毛実技演習 ウォームワックス・ホットワックス総合演習 【到達目標】衛生・安全を確認し、所定の時間内に効率敵に作業が出来るようになる				
到達目標	体毛の種類や皮膚の状態を確認し技法の選択を行い、衛生的に問題なく安全に施術を行うことが出来る。また、トラブルが起きた際に、迅速に対応出来る知識と実践が行うことが出来る。				
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	新エステティック学一技術編Ⅰ AEA美容脱毛学テキスト シデスコマニュアルテキスト 配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるエステティシャン養成の観点から授業を行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習 (来客実習/総合技術実習)	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	96
教育目標・ ねらい	実際のサロン業務を想定し、外部のお客様対応を行う。施術面ではあらゆるお客様の肌トラブル・身体の症状の施術計画を行い実践し、サロン運営面では組織としてサロンを管理することを各セッション毎に経験を積む。				
授業回	学習内容			備 考	
	【授業の狙い】 下記6つの業務を全般的に行う。 (1)受付業務 (2)運営業務 (3)施術 (4)企画・構成 (5)人材育成業務 (6)販売業務 1日6時間×3日を1クールとし、計5クール実施する。各クールにおける到達目標は以下のとおりである。				
1クール (1~18)	【到達目標】 各業務を一通り経験し、業務内容を理解する				
2クール (19~36)	【到達目標】 実習担当グループごとに目標を設定し、目標達成のための実行計画作成→実行→結果評価と改善計画立案というPDCAサイクルを経験する				
3~5クール (37~90)	【到達目標】 改善計画の実行→次回改善計画作成というPDCAサイクルの深化を実際に経験し、学びを深める				
91~96	【到達目標】 (1)5クールの結果を総括し、各グループの成功事例、要改善点を全員で共有する (2)各自の経験を通し、あるべきエステティシャンと現状を比較し、今後のキャリアプランを具体的に作成する				
到達目標	・サロン運営者の意識を持ち、自主的に行動・発言を行うことが出来るようになる ・あらゆるお客様の施術を行うことで、知識・技術の対応力が身に付き施術計画の幅を広げることが出来る				
評価方法	来客者の5段階顧客満足度アンケートを行い、集計結果に応じ100点満点換算で評価する。なお、所定授業時数(全体の4/5)を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	来客実習マニュアルテキスト及び配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、顧客満足向上に直結する実践的アドバイスを行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習 (来客実習/総合技術実習)	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	54
教育目標・ ねらい	実際のサロン業務を想定し、外部のお客様対応を行う。施術面ではあらゆるお客様の肌トラブル・身体の症状の施術計画を行い実践し、サロン運営面では組織としてサロンを管理することを各セッション毎に経験をする。				
授業回	学習内容			備 考	
	【授業の狙い】 下記6つの業務を全般的に行う。 (1)受付業務 (2)運営業務 (3)施術 (4)企画・構成 (5)人材育成業務 (6)販売業務 1日6時間×3日を1クールとし、計5クール実施する。各クールにおける到達目標は以下のとおりである。				
1・2クール (1～36)	【到達目標】 教員は補助的なアドバイザーという位置づけで、各グループが作成した事業計画に基づき、自主的なサロン運営を行う				
3クール (37～54)	【到達目標】 (1)各グループの成功事例、要改善点を共有し、学科の総意としての事業計画を議論・作成し、各グループがサロンを運営する。 (2)運営結果について学科全体で総括する。				
到達目標	・サロン運営者の意識を持ち、自主的に行動・発言を行うことができるようになる ・あらゆるお客様の施術を行うことで、知識・技術の対応力が身に付き施術計画の幅を広げることができる				
評価方法	来客者の5段階顧客満足度アンケートを行い、集計結果に応じ100点満点換算で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	来客実習マニュアルテキスト及び配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、顧客満足向上に直結する実践的アドバイスを行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	エステティック技術実習（CIDESCO対策）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	180
教育目標・ ねらい	基礎・応用の知識・技術の確認を行い、分析に基づいた様々な施術計画を立てることを学ぶ また、現場を想定した施術・ホスピタリティを実践することを学ぶ				
授業回	学習内容				備 考
1	シデスコ対策実習①（基本技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：クレンジング・マッサージ・ネイル、BO：クレンジング・マッサージ・BOマスク 【到達目標】 基本技術を時間内に丁寧に効率よく効果を出すテクニックが出来る				
2	シデスコ対策実習①（基本技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：クレンジング・マッサージ・ネイル、BO：クレンジング・マッサージ・BOマスク 【到達目標】 基本技術を時間内に丁寧に効率よく効果を出すテクニックが出来る				
3	シデスコ対策実習①（基本技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：クレンジング・マッサージ・ネイル、BO：クレンジング・マッサージ・BOマスク 【到達目標】 基本技術を時間内に丁寧に効率よく効果を出すテクニックが出来る				
4	シデスコ対策実習①（基本技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：クレンジング・マッサージ・ネイル、BO：クレンジング・マッサージ・BOマスク 【到達目標】 基本技術を時間内に丁寧に効率よく効果を出すテクニックが出来る				
5	シデスコ対策実習①（基本技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：クレンジング・マッサージ・ネイル、BO：クレンジング・マッサージ・BOマスク 【到達目標】 基本技術を時間内に丁寧に効率よく効果を出すテクニックが出来る				
6	シデスコ対策実習②（基本技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：機器①・FAマスク・メイクアップ、BO：機器①・脱毛（ウォーム） 【到達目標】 機器の技術理論を口頭試問で説明をし、理論に基づいた機器の技術工程が出来る				
授業回	学習内容				備 考

7	シデスコ対策実習②（基本技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：機器①・FAマスク・メイクアップ、BO：機器①・脱毛（ウォーム） 【到達目標】 機器の技術理論を口頭試問で説明をし、理論に基づいた機器の技術工程が出来る	
8	シデスコ対策実習②（基本技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：機器①・FAマスク・メイクアップ、BO：機器①・脱毛（ウォーム） 【到達目標】 機器の技術理論を口頭試問で説明をし、理論に基づいた機器の技術工程が出来る	
9	シデスコ対策実習②（基本技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：機器①・FAマスク・メイクアップ、BO：機器①・脱毛（ウォーム） 【到達目標】 機器の技術理論を口頭試問で説明をし、理論に基づいた機器の技術工程が出来る	
10	シデスコ対策実習②（基本技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：機器①・FAマスク・メイクアップ、BO：機器①・脱毛（ウォーム） 【到達目標】 機器の技術理論を口頭試問で説明をし、理論に基づいた機器の技術工程が出来る	
11	シデスコ対策実習③（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：機器②・ティティング&ツイーピング・コンサルテーション・マッサージ・ネイル、BO：プレトリートメント・機器②・コンサルテーション・脱毛（ホット） 【到達目標】 分析にもとづいた施術計画を立て、根拠を理論的に説明することが出来る	
12	シデスコ対策実習③（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：機器②・ティティング&ツイーピング・コンサルテーション・マッサージ・ネイル、BO：プレトリートメント・機器②・コンサルテーション・脱毛（ホット） 【到達目標】 分析にもとづいた施術計画を立て、根拠を理論的に説明することが出来る	
13	シデスコ対策実習③（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり FA：機器②・ティティング&ツイーピング・コンサルテーション・マッサージ・ネイル、BO：プレトリートメント・機器②・コンサルテーション・脱毛（ホット） 【到達目標】 分析にもとづいた施術計画を立て、根拠を理論的に説明することが出来る	

授業回	学習内容	備考
14	<p>シデスコ対策実習③（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：機器②・ティティング&ツイーピング・コンサルテーション・マッサージ・ネイル、BO：プレトリートメント・機器②・コンサルテーション・脱毛（ホット）</p> <p>【到達目標】 分析にもとづいた施術計画を立て、根拠を理論的に説明することが出来る</p>	
15	<p>シデスコ対策実習③（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：機器②・ティティング&ツイーピング・コンサルテーション・マッサージ・ネイル、BO：プレトリートメント・機器②・コンサルテーション・脱毛（ホット）</p> <p>【到達目標】 分析にもとづいた施術計画を立て、根拠を理論的に説明することが出来る</p>	
16	<p>シデスコ対策実習④（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：クレンジング・コンサルテーション・ティティング&ツイーピング・ディープクレンジング・機器①・ネイル・メイクアップ</p> <p>BO：コンサルテーション・プレトリートメント・機器①、②・BOパック</p> <p>【到達目標】 時間内に各技術工程を行い、施術計画の正確に行うことが出来る</p>	
17	<p>シデスコ対策実習④（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：クレンジング・コンサルテーション・ティティング&ツイーピング・ディープクレンジング・機器①・ネイル・メイクアップ</p> <p>BO：コンサルテーション・プレトリートメント・機器①、②・BOパック</p> <p>【到達目標】 時間内に各技術工程を行い、施術計画の正確に行うことが出来る</p>	
18	<p>シデスコ対策実習④（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：クレンジング・コンサルテーション・ティティング&ツイーピング・ディープクレンジング・機器①・ネイル・メイクアップ</p> <p>BO：コンサルテーション・プレトリートメント・機器①、②・BOパック</p> <p>【到達目標】 時間内に各技術工程を行い、施術計画の正確に行うことが出来る</p>	
19	<p>シデスコ対策実習④（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：クレンジング・コンサルテーション・ティティング&ツイーピング・ディープクレンジング・機器①・ネイル・メイクアップ</p> <p>BO：コンサルテーション・プレトリートメント・機器①、②・BOパック</p> <p>【到達目標】 時間内に各技術工程を行い、施術計画の正確に行うことが出来る</p>	

授業回	学習内容	備考
20	<p>シデスコ対策実習④（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：クレンジング・コンサルテーション・ティティン＆ツイージング・ディープクレンジング・機器①・ネイル・メイクアップ</p> <p>BO：コンサルテーション・プレトリートメント・機器①、②・BOパック</p> <p>【到達目標】 時間内に各技術工程を行い、施術計画の正確に行うことができる</p>	
21	<p>シデスコ対策実習⑤（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：シデスコ国際試験技全術工程、BO：シデスコ国際試験全技術工程</p> <p>【到達目標】</p> <p>時間内に各技術工程を行い、施術計画を正確に行うことができる</p> <p>各工程に対し口頭試問を理論的に説明する</p>	
22	<p>シデスコ対策実習⑤（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：シデスコ国際試験技全術工程、BO：シデスコ国際試験全技術工程</p> <p>【到達目標】</p> <p>時間内に各技術工程を行い、施術計画を正確に行うことができる</p> <p>各工程に対し口頭試問を理論的に説明する</p>	
23	<p>シデスコ対策実習⑤（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：シデスコ国際試験技全術工程</p> <p>BO：シデスコ国際試験全技術工程</p> <p>【到達目標】 時間内に各技術工程を行い、施術計画の正確に行うことができる</p>	
24	<p>シデスコ対策実習⑤（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：シデスコ国際試験技全術工程、BO：シデスコ国際試験全技術工程</p> <p>【到達目標】</p> <p>時間内に各技術工程を行い、施術計画を正確に行うことができる</p> <p>各工程に対し口頭試問を理論的に説明する</p>	
25	<p>シデスコ対策実習⑤（応用技術強化） 相モデル実習※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：シデスコ国際試験技全術工程、BO：シデスコ国際試験全技術工程</p> <p>【到達目標】</p> <p>時間内に各技術工程を行い、施術計画を正確に行うことができる</p> <p>各工程に対し口頭試問を理論的に説明する</p>	
26	<p>シデスコ対策実習⑥（本試験模擬練習）※ 口頭試問各技術工程あり</p> <p>FA：シデスコ国際試験技全術工程、BO：シデスコ国際試験全技術工程</p> <p>【到達目標】 シデスコ国際試験本番と同じ時間帯で技術工程を行い、合格基準の知識・技術・接客対応力の最終確認を行う</p>	

授業回	学習内容	備考
27	シデスコ対策実習⑥（本試験模擬練習）※ 口頭試問各技術工程あり FA：シデスコ国際試験技全術工程 BO：シデスコ国際試験全技術工程 【到達目標】 シデスコ国際試験本番と同じ時間帯で技術工程を行い、合格基準の知識・技術・接客対応力の最終確認を行う	
28	シデスコ対策実習⑥（本試験模擬練習）※ 口頭試問各技術工程あり FA：シデスコ国際試験技全術工程、BO：シデスコ国際試験全技術工程 【到達目標】 シデスコ国際試験本番と同じ時間帯で技術工程を行い、合格基準の知識・技術・接客対応力の最終確認を行う	
29	シデスコ対策実習⑥（本試験模擬練習）※ 口頭試問各技術工程あり FA：シデスコ国際試験技全術工程、BO：シデスコ国際試験全技術工程 【到達目標】 シデスコ国際試験本番と同じ時間帯で技術工程を行い、合格基準の知識・技術・接客対応力の最終確認を行う	
30	シデスコ対策実習⑥（本試験模擬練習）※ 口頭試問各技術工程あり FA：シデスコ国際試験技全術工程、BO：シデスコ国際試験全技術工程 【到達目標】 シデスコ国際試験本番と同じ時間帯で技術工程を行い、合格基準の知識・技術・接客対応力の最終確認を行う	
到達目標	知識・技術を総合的に理解し、シデスコ国際試験技術工程を時間内に行う 施術計画に対し、分析した内容を理論的に説明し実際に効果のあるテクニックを行うことが出来る	
評価方法	各期末実技試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	シデスコマニュアルテキスト シデスコ口頭試問集 シデスコ筆記試験問題集	
特記事項	シデスコ国際試験スクール試験官による授業を行う	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・高橋・川添		
科目名	高度美容技術(CIDESCO症例研究)	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	50
教育目標・ ねらい	エステティックに関する基礎・応用教育で学んだ知識・技術を総合し、症例研究としてお客様へ 施術をした結果を分析し論文作成をこなす				
授業回	学習内容			備 考	
1～3	【到達目標】 1. 授業内容のオリエンテーション（概要説明、研究テーマの選び方、論文作 成の進め方） 2. 各自テーマ設定				
4～9	【到達目標】 各自のテーマに従った施術の実践と考察結果を論文にまとめ、グループ討議の 場で発表する。発表結果に対する教員の評価と指導に基づき、引き続き研究 テーマとして考察を続けるかどうかを判断する				
10～26	【到達目標】 各自のテーマに従った施術の実践と考察結果を論文にまとめ、グループ討議の 場で発表する。発表結果に対する教員の評価と指導に基づき、引き続き研究 テーマとして考察を続けるかどうかを判断する				
27～29	【到達目標】 各自の考察結果をグループ討議の場で発表し、互いの考察に対する評価を行 う。発表結果に対する教員の評価と指導に基づき、論文の概要を作成する。				
30～50	【到達目標】 各自の論文テーマに沿って、クライアントの選定と計画に従って施術を実行す る。また、年齢別や生活環境別で使用する商材・機器・時間配分等も自ら決定 し効果の考察を行う				
到達目標	興味がある研究テーマに対し、考察力や発信力を養い専門知識のレベルを上げることが出来る。 また研究結果に対し、問題意識を持ち常に学びを継続する力をつけることが出来る				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対 象としない				
テキスト	シデスコマニュアルテキスト及び配布プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有する サロン勤務の経験を踏まえ、顧客満足向上に直結する実践的アドバイスを行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・川添・小野		
科目名	高度美容技術（匠すと）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	技術研鑽に励み、技術レベルの向上を図る				
授業回	学習内容			備 考	
1	1. 競技オリエンテーション 2. 各競技説明 3.各競技デモンストラーション				
2・3	【競技演習】				
4・5	【競技演習】				
6・7	【競技演習】				
8・9・10	各競技本番				
到達目標	基礎技術・応用技術を身につけ技術力を磨き、自ら発信出来るクリエイターになることが出来る				
評価方法	提出課題(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	全テキスト				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員はAJESTHE認定上級エステティシャンとして最低5年以上有するサロン勤務の経験を踏まえ、顧客満足向上に直結する実践的アドバイスを行う				

学科	ビジネス美容科	担当教員	井上		
科目名	美容美術(造形学)	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	25
教育目標・ ねらい	表現技術(形、色彩、構成)と表現材料を理解し、イメージ表現できる能力を高める。				
授業回	学習内容			備 考	
1~2	ポディーペイントの歴史とペイント実習 【到達目標】 ペイント用の絵具説明し チーフの決め方を学び、実際に自分の腕にペイント できるようになる			絵の具 三善	
3~5	腕・顔に各自ペイントする。 【到達目標】 ペイントデザインのテーマを決めて 腕・顔に描けるようになる			絵の具 三善	
6~8	腕・顔に各自ペイントする。 【到達目標】 ペイントデザインのテーマを決めて 色彩を考えて腕・顔に描けるようになる			絵の具 三善	
9~11	背中・顔ペイント 【到達目標】 デザインを決めて 背中ではペアーになりペイントできるようになる			絵の具 三善	
12~14	背中・顔ペイント 【到達目標】 デザインを決めて 背中ではペアーになりペイントできるようになる			絵の具 三善	
15~17	全身の(背中・顔・首・肩・腕・脚)ペイント 【到達目標】 構図、色彩、立体感、存在感の確認し表現できるようになる			絵の具 三善	
18~20	全身の(背中・顔・首・肩・腕・脚)ペイント 【到達目標】 チーム全体の構図、色彩、立体感、存在感の表現の再確認をすることができる			絵の具 三善	
21~25	全身の(背中・顔・首・肩・腕・脚)ペイント 【到達目標】 全身+衣装 チームのバランス、色彩、衣装チェックをして表現できるようになる			絵の具 三善	
到達目標	造形とデッサンの応用を通して、美翔祭でトータルイメージを表現し人を感動させる。				
評価方法	提出課題(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る 学生は受験することができない				
テキスト	コピー配布				
学科	ビジネス美容科	担当教員	鈴木		

科目名	美容美術(ファッション)	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	20
教育目標・ ねらい	①美翔祭衣装の制作を通しバランスとは、似合うとは何かを理論と実践で学習する ②自己表現を養いファッションを軸にしたコミュニケーション力をつける				
授業回	学習内容			備 考	
1	錯視効果とファッションスタイリング 【到達目標】 モノの見え方を錯視効果の視点で理解する。この理論を体型カバーに落とし込む。スタイリングバランスや似合う理由、また似合うための提案が美翔祭衣装や日常生活に生かされるようになる			PC、プロジェクター	
2	効果的な衣装デザインを考える 【到達目標】 ①シルエットの種類と名称、シルエットを作る素材の特徴を知る ②ファッションイメージに沿う素材の種類と名称を知る ③素材の取り扱い評価を知り縫いやすさを知る 上記3点からスタイリングのバランス感覚が掴めるようになる			PC、プロジェクター	
3	衣装デザインを演習する 【到達目標】 ①体型の特徴を活かすシルエットとスタイリングであるか ②衣装の土台となる基本アイテムの選定に無理がないか ③テーマとデザインの方向性に柔軟性があるか 上記3点から衣装の土台を後期までに整えられるようになる			PC、プロジェクター、 デザインシート	
4	作品制作のための個別相談とパターン制作 【到達目標】 ①基本アイテムのデザイン、配色、素材、縫製などの特徴を把握する ②細部デザインと素材イメージのマッチングを確認する 上記2点からアイテムの土台を解く位置の確認、デザインと素材イメージのバランスが掴めるので、細部デザインのパターン制作に取り組めるようになる			デザインシート 基本アイテム 素材 パターンの用紙 持参	
5	作品制作のための注意点 【到達目標】 ①基本アイテムの土台をデザイン別に解く方法について知る ②素材の裁断に必要な布目の方向とパターンのすえ方を知る 上記2点で土台を正確に解き、正しい裁断ができるようになる			デザインシート 基本アイテム 素材、裁縫用具 パターン持参	
6	作品制作のための個別点検と相談 【到達目標】 デザイン要素の高いディテールは仮縫いを行う。布端始末の種類と方法、ウエストのまとめ方、ギャザーやタックの取り方など必要に応じて説明を受ける。各デザインに応じた説明により何をどのように取り入れていくか知ることができ、次のステップに進めることができる			デザインシート 基本アイテム 素材、裁縫用具持参	

授業回	学習内容	備考
7	<p>作品制作のためのバランスを確認</p> <p>【到達目標】</p> <p>①完成したディテールを基本アイテムの土台に仮止めする方法を知る</p> <p>②土台を解いた箇所に挟むまたは乗せる場合の2ポイントを知る</p> <p>上記2点でシルエットの確認ができ全体のバランスがよいかつかめるようになる</p>	<p>デザインシート</p> <p>基本アイテム</p> <p>素材、裁縫用具持参</p>
8	<p>作品制作のための個別相談</p> <p>【到達目標】</p> <p>仮止め確認後、ディテールを土台に縫い留めるポイントを学習する。バランスのとりにくいデザインは繰り返し検討しシルエット作りに工夫を重ね作品イメージに近づけていけるようになる</p>	<p>デザインシート</p> <p>材料・縫製用具</p>
9	<p>作品制作のための注意点について</p> <p>【到達目標】</p> <p>ディテールを土台に縫い留めた後、アクセサリーを加え全体のバランスを確認する。使用するアクセサリーは種類ごとに素材や色、大きさなど取り込む場所を吟味する。イメージがより具体化されるので新しいアイデアが生まれるようになる</p>	<p>デザインシート</p> <p>材料・縫製用具</p> <p>アクセサリー</p>
10	<p>作品制作の仕上げに向けた個別相談</p> <p>【到達目標】</p> <p>本番を意識した仕上げの作業になるため一つひとつのディテールの出来栄え、縫製の正確さ、完成期日に合わせた仕上げ工程など個別相談を受ける。注意深く作業を進める調整ができるようになる</p>	<p>デザインシート</p> <p>材料・縫製用具</p>
11	<p>作品制作のまとめと個別相談</p> <p>【到達目標】</p> <p>作品の細部に渡り仕上がりのバランスが整っているか最終チェックを受ける。特にアクセサリーは顔周りやヘッド、手首、シューズに至るまで配色や大きさ、質感の気配りが必要であることを再確認。トータルバランスを意識することで本番に自信を持って臨めるようになる</p>	<p>デザインシート</p> <p>材料・縫製用具</p> <p>アクセサリー</p>
12	<p>作品発表</p> <p>【到達目標】</p> <p>作品を着装し担当講師、クラスメイトから評価を受ける</p> <p>評価項目は3つ①インパクト、②発想力、③努力点</p>	<p>完成作品</p>
到達目標	<p>①錯視効果をデザインに応用しバランスのとりの方や似合う理由を説明できる</p> <p>②作品を完成させデザインの理由を説明できる</p> <p>2点を踏まえファッションを理論でコミュニケーションできる力を持つこと</p>	
評価方法	<p>制作した作品の要点を理論的にプレゼンを100点満点評価70点以上合格</p> <p>所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない</p>	
テキスト	<p>配布資料</p>	

学科	ビジネス美容科	担当教員	人見		
科目名	表現技術（ビジネス実務）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	面接対策と社会のルールの復習、職場に合わせたハウスルールやワンランク上の接客対応を身に 着ける。テキストを使用しながら、お客様心理や顧客を長く惹きつける方法を学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1	自分のキャリアを考える。働くこととは。社会で必要とされる人物とは。 仕事への取り組み方。責任と職業倫理。積極性と自主性。組織と社会の仕組み 自分の役割を考える。コンプライアンスとITのビジネス環境				
2	1年時の総復習。9つの意識、自己紹介と自己PR。 笑顔トレーニング。TPOとは。自己表現と身だしなみルール。				
3	話し方のロールプレイング。様々な場面での切り返しトーク、 両面販売方法を学ぶ。お客様の満足度を上げるために必要なことを知る。				
4	歩き方、所作の作法、視線の効果。敬語マスター。 自分へのマネジメントと見せ方。来客対応の流れ。				
5	クレーム処理と顧客満足度。活躍し、期待される人は何が違うのか。 利益とホスピタリティ精神。オペレーション方法。顧客意識。 ニーズと要望。サービスの提供方法を学ぶ。問題の拡大を防ぐ。				
6	円滑なコミュニケーションに必要なこと。ものの考え方。 職場で気を付けること。健康管理とルール。ストレスとの付き合い方。				
7	報告・連絡・相談の重要性。ビジネスの目的と心構え。 傾聴力とお詫びの態度。質問の技術と答え方。				
8	商談の進め方。コンサルティングセールスとは。 信頼を得るポイント。見込み客から得意客へ。情報収集の大切さ。				
9	チームワークの重要性。会議の必要性。プレゼンテーションの目的。 チームワークとリーダーの役割。後輩の育て方。 労働と信用取引。問題解決能力。				
10	人脈とビジネスチャンス。業務の種類と管理。スケジュール管理。 環境の変化によるIT化と在宅ワーク社会。情報セキュリティと危機管理。 計画の重要性。数値情報の大切さ。数値の読み取り方。				
到達目標	敬語を使用し、スムーズにお客様へのご案内が出来るようになる。 お客様に選ばれる、明るく印象のよい接客が出来る。所作の美しい動きが身につく。 社会で必要とされる存在になる知識と技術を身につける。				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を 下回る学生は受験することができない				
テキスト	ビジネス能力検定ジョブパス、配布プリント。				

学科	ビジネス美容科	担当教員	楓		
科目名	表現技術（英会話）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義・演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	25
教育目標・ ねらい	1. エステティックサロンでの会話を想定し、英会話の基本を、エステ関連ボキャブラリを習得しながら学ぶ 2. シンプルな文型を繰り返し使い、実践的かつ英会話の楽しさを学べる演習とする 3. ロールプレイを多く取り入れる				
授業回	学習内容			備 考	
1	Warm Up -自己紹介 20 minutes・Basic Dialogue and Useful Words and Phrases of UNIT 1 【到達目標】 基本的な挨拶、時間、曜日、日付の会話表現				
2	Unit 2 Greeting a client 【到達目標】 受付時のお客様との応対・挨拶から、お待ち頂くまでの会話の流れ				
3	Unit 3 Making an appointment 【到達目標】 予約時の電話応対・電話英語の習得				
4	Unit 4 Chatting with a client Review(1) Unit 1- Unit4 【到達目標】 お客様との一般会話の習得				
5	Review(1) Unit 1- Unit4 (Unit 1- Unit4 の復習)				
6	Unit 5 Application form 【到達目標】 カウンセリングシートの記入・個人記録用紙を使った演習				
7	Unit 6 Counselling 【到達目標】 カウンセリング時の会話・頻度の聞き方の習得				
8	Unit 7 Facial 【到達目標】 フェイシャル関連表現・顔の各部分の英単語、皮膚の状態の表現、施術動作の表現の習得				
9	Unit 8 Nails - ネイル関連表現 【到達目標】 手足、爪及びネイル関連英単語、施術動作表現と会話の習得				
10	・ Unit 5- Unit8 の復習				
11	Unit 9 Make-up 【到達目標】 Make-Upに関する用語、使用表現の習得				
12	Unit 10 Body 【到達目標】 ボディ関連表現 接客練習 (Role-play)・ボディ関連英単語				

授業回	学習内容	備考
13	Unit 11 Polite requests and offers 【到達目標】 お客様に何かお願いするときや提案するときの丁寧な表現の習得	
14	Unit 12 Payment 【到達目標】 支払時の会話 接客練習 (Role-play) ・金額の言い方、支払時の会話演習	
15	・ Unit 9- Unit 12 の復習	
到達目標	エステティックの現場をシチュエーションとして、実践的かつ英会話の楽しさを学ぶ。	
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	English for Aesthetic Salons	

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木		
科目名	表現技術（ビジネスマインド）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義・演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	利他の精神を学び、全ての物事は相手あつての事柄だということを学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1～6	【社会人としての基礎】 自己と利他 ① 【到達目標】 「自己と利他」の違いを学び、「利他」の考え方を学ぶと組織が円滑に回ることにコミュニケーションを取りやすいことを学び、行動計画を立て実践することが出来る				
7～12	【社会人としての基礎】 自己と利他 【到達目標】 「自己と利他」の違いを学び、「利他」の考え方を学ぶと組織が円滑に回ることにコミュニケーションを取りやすいことを学び、行動計画を立て実践することが出来る				
13～15	【社会性を身につける】 コミュニケーション能力 【到達目標】 他者評価を受け入れ、相手を受容する能力を身につけることが出来る				
到達目標	サービス業の精神は利他の考えであることを理解し、自ら学ぶことはお客様へのサービス提供に繋がる利他の精神だということを学校生活より実践できる				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で60点以上を合格と評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	ビジネスマインドテキスト				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木		
科目名	表現技術（ビジネスマインド）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	講義・演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	利益ばかりを求めるのではなく、奉仕の心を持って物事に望む姿勢を学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1～10	【自己と利他②】 ※ 自ら進んで行動し、個人的な利益を求めず社会性を持って主体的な 考え・行動をとる重要性を学ぶ。自由な発想やアイデアを出し、相手 に喜んでもらう事が出来る人間力をみにつける				
到達目標	自分の発言や行動がどのように周囲に影響を与え、主体的に行動する事の大切さ重要性を理解できる				
評価方法	各期末筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	ビジネスマインドテキスト				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・川添・小野		
科目名	ホームルーム(就職指導)	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	目指す職業に就く為、自己分析を行い企業にどのように貢献できるか自ら提案出来るようになる				
授業回	学習内容			備 考	
1~4	【就職HR】 1. 就業する意味 2. 社会人と学生の違い 3. 自己分析について				
3・4	【就職HR】 1. 履歴書の書き方 2. 就職面接について				
5	【就職活動】 1. エントリーの仕方 2. 企業訪問				
6~9	【業界見学】 美容見本市参加①				
10~13	【業界見学】 美容見本市参加②				
14・15	【企業サロン説明会】 就職希望企業の選定・個人面談				
到達目標	客観的に自分を分析し、企業・社会に貢献出来る考え方が出来る				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時間数（全体の2/3）を下回る学生は、評価対象としない。				
テキスト	配布プリント				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木		
科目名	華道	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	8
教育目標・ ねらい	自由な発想力やアイデアを活かし、色のバランスや構成を考え作品をつくる				
授業回	学習内容			備 考	
1~4	【フラワーアレンジメント】 ※ 題目を決めて自由に創作し、創造性と感受性を養う				
5・6	【美翔祭トータルヘアショーヘッドアレンジメント】				
7・8	【美翔祭トータルヘアショーヘッドアレンジメント】				
到達目標	創造性を養い、イメージを形に起こすことが出来る				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る出席者は評価対象としない				
テキスト	配布プリント				

学科	ビジネス美容科	担当教員	境田・笹木・川添・小野		
科目名	学園祭	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	学んだ知識・技術をお客様に提供や観覧してもらう重要性を学ぶ				
授業回	学習内容			備 考	
1～30	<p>学園祭</p> <p>①店舗名、役割決め 自分たちがお客様に提供する技術の内容を討議し、決定する</p> <p>②技術練習 提供すべき技術レベルを確認し、誰もが同一レベルの技術提供ができるよう、練習する</p> <p>③模擬練習 お客様のご来店からお見送りまで一連の流れを理解し、接客、技術提供ができるようになる</p> <p>④学園祭当日 お客様に喜んでいただける接客及び技術の提供を行う</p> <p>【到達目標】 お客様の視点に立ち、お客様に喜んで戴くために必要なことを考え、実践できるようにする</p>				
31～60	<p>匠すと</p> <p>①作品企画 テーマの背景を読み取り、その表現方法を考える</p> <p>②準備・仕込み 作品制作に必要な道具、小物を準備する</p> <p>③技術トレーニング タイムトライアルを反復し、時間内の作品完成を練習する</p> <p>③作品制作 テーマをに合わせた作品を創り上げる</p> <p>【到達目標】 学んだ技術を駆使し、自身の表現したいものが創れるようになる</p>				
到達目標	発想力や創造性を養い、チームとしてパフォーマンスを行う協調性が身に就く。				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント配布				